

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP-P2-22	研究期間	2028 年 3 月 31 日まで
研究課題名	過去に保存された DNA 抽出可能な血液塗抹標本と血液浸潤ペーパーディスクの GWAS への適用性を検討するための予備的調査		
研究責任者（所属）	林 奉権、吉田健吾（放射線影響研究所）		
試料・情報の利用目的及び利用方法	利用目的： 放射線影響研究所に長年保存された血液試料を用いた遺伝子型判定データが、ゲノムワイド関連研究（GWAS）と呼ばれる、遺伝子型と個人差との関連性の統計的解析にどの程度利用可能かを評価します。 利用方法： 成人健康調査の対象者 12 名から同意を得て提供された血液、血液塗抹標本、血液浸潤ペーパーディスクなどの血液試料から DNA を抽出して網羅的な遺伝子型判定を行います。その結果、判定できなかった遺伝子座の遺伝子型の確率を計算したうえで、その精度を統計的に評価します。遺伝子型の確率の計算には、バイオバンク・ジャパンから NBDC ヒトデータベースを通して放影研に提供される、日本人 7,472 人分の全ゲノムの塩基配列データなどを利用します。このデータの利用開始は 2026 年 8 月以降で、その利用はすべて放影研内で行います。		
他の機関への提供の有無	☐ 有 提供先機関名：		
	☒ 無		
利用し、又は提供する試料・情報の項目 （提供する試料・情報の取得の方法）	成人健康調査の対象者 12 名から提供された血液、血液塗抹標本、血液浸潤ペーパーディスクなどの血液試料。 バイオバンク・ジャパン第 1 コホート 7,472 人分のゲノム全体の塩基配列データ。このデータの取得は、国立遺伝学研究所バイオデータ研究拠点ライフサイエンス統合データベース部門が運営する NBDC ヒトデータベース（責任者：五斗 進）を通して行われます。		
利用する者の範囲	放射線影響研究所 林 奉権 谷本幸介 大石和佳 ブレナー・アリーナ コロシ・ジョン スポスト・リチャード		

	リウ・ジェンチウ フラナガン・ジャック 吉田稚明 濱崎幹也 多賀正尊 吉田健吾 田邊 修
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	フラナガン・ジャック（放射線影響研究所）
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：田邊 修 公益財団法人 放射線影響研究所 バイオサンプル研究センター 所在地：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131